

子どもの子どもによる「子どものためのまちづくりカフェ」

後援：名古屋市教育委員会

PRTIMES
プレスリリース**開催日：11 月 8 日（土）10：00～15：00 場所：名東生涯学習センター 入場：無料**

名古屋市名東区上社学区を拠点とするまちづくり団体「上社ウェルまちビーイング」は、第 45 回ふれあい生涯学習まつりで「子どものためのまちづくりカフェ」を出店する。コミュニケーションのある地域コミュニティが減少する現代において、子どものためのまちづくりカフェでは、まちのこれからをまちの子どもたちと語り合う「まちづくり絵馬」のイベントをワークショップ形式にて行う。

“自分のまち” への本音を考え書き出す【まちづくり絵馬のワークショップ】開催

まちづくり絵馬とは、自分が関わるまちについて「実はこうなって欲しい」と思っていることを絵馬の形式を用いて書き出し、話し合い、お互いの絵馬をみながら楽しくまちについて考える機会を作るイベント。

本イベントでは、11 年前にサービスを終了した名東区生涯学習センター 1F 喫茶室を利用し、「子どものためのまちづくりカフェ」として、ドリンクを一杯 50 円～、お菓子を一つ 13 円～提供する。ドリンクやおやつを片手に、「前回のまちづくり絵馬イベント（2025.8.2 上社学区盆踊り大会に出店）」で書かれた絵馬へのお返事を見てもらったり、まちづくり絵馬のワークショップに参加してもらったり（ワークショップに参加した方にお菓子を一つプレゼント!）と、まちに関わる人たちによるコミュニケーションの場所を提供する。

**もっと楽しく気軽に皆でまちについて話し考え、まちを皆で改善していきたい**

近年、共働き世帯の増加、少子化およびプライバシーの意識の高まりといった社会的要因により、子どもを取り巻く地域コミュニティの衰退や減少が著しい。自治会や子ども会、PTA といった組織だけでなく、老人会や生涯学習センターを拠点とする活動グループも衰退、減少傾向にあり、その主要因として運営負担の偏在や、役員候補者の不足が挙げられる。こうした状況を踏まえ、本活動では地域社会のコミュニティの再構築を通じて、まちに関わる人同士の顔が見える関係の強化を図り、困難やトラブル発生時の相互扶助体制を整備し、大人・子ども双方が、安心して成長できる持続可能な地域社会の実現を目指すことを目的としている。

団体情報・活動概要

令和 7 年 5 月 1 日に名古屋都市センターのスタートアップ助成を受けて立ち上げたまちづくり団体。上社学区に住む人、働く人、学ぶ人、何らかの理由で通う人がより良い「まち生活」を送れるよう、活気や衛生といった健康面、景観の美しさ、安全性、繋がりの強化といった社会面における、まちのウェルビーイング向上に貢献する。

取材申し込み・お問い合わせ

上社ウェルまちビーイング

代表：杉本（渡辺）真由子 mobile: 080-9729-2661

e-mail: well.machi.being@gmail.com

Instagram: https://www.instagram.com/kamiyashiro_well_machi_being/

KAMIYASHIRO_WELL_MACHI_BEING



<左：杉本真由子 右：野地祐里子>

自分の子どもが小学生になった時に、子どもを取り巻くコミュニティ環境の衰退に気づいたことがきっかけで活動を始め。「子どもたちと一緒に明るいまちの未来を考えたい!」そんな時に助けてくれたのが、愛知県立芸術大学大学院同期生である野地である。野地の修了研究より「まちづくり絵馬」のイベントを活用した試みを上社学区でも取り入れた。今後もまちづくり絵馬イベントの進化や発展を進め、まちに還元できる活動を行っていく。